

事務事業名	議会運営事業			事業コード	01010105101		
所管部署	議会事務局	電話	50-3001	記入者名	小澤清和		
事業対象	坂井市議会、及び議員						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）		
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	内部管理事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	地方自治法					
根拠例規	有	坂井市議会基本条例、坂井市議会定例会条例、坂井市議会委員会条例、坂井市議会定例会招集規則、坂井市議会会議規則、坂井市議会傍聴規則					
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	議会運営を適正かつ円滑に行うため、これに付随する各種事務事業を行います。						
	◆本会議運営事業 ・定例会（年4回）、臨時会の開催・運営、及び議決書等の作成、会議録の調整						
	◆委員会関係事務 ・議会運営委員会、常任委員会、特別委員会開催に係る諸事務、及び委員会記録の作成						
	◆協議会の開催 ・本会議、及び委員会運営が円滑に遂行できるように、全員協議会、委員会協議会の開催（事前協議）						
	◆会派関係事務 ◆会派制の適正な運用 ◆全国市議長会等の出席負担金等 全国委員長会等関係諸会議の出席等を通じて、必要な情報の提供や収集を行うとともに関係各市議会等との相互連携や意見交換を行う。						

すぐに行える改善提案	議会が担うべき機能や役割を適切に果たせるよう、適正かつ効率的な議会運営のサポートに努めます。		
目標年度	平成27	年度	
取組状況	会議が滞ることのないよう、理事者側との連絡調整を行い、スムーズな議会運営に努めている。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度	未設定	年度	
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
【担当者評価】	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
【有効性】	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	【サービスの見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
		A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	議会費	項	議会費	目	議会費				
【事業のコスト】 コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	126,120	千円	125,222	千円		千円		千円
		委託費	664	千円	673	千円		千円		千円
		需用費	108	千円	837	千円		千円		千円
		役務費	11	千円	76	千円		千円		千円
		その他	1,612	千円	1,789	千円		千円		千円
	事業費合計	128,515	千円	128,597	千円		千円		千円	
	人件費	正職員	3.20	人	22,749	千円	3.20	人		千円
		臨時職員	0.00	人		千円	0.00	人		千円
		人件費合計	3.20	人	22,749	千円	3.20	人		千円
	総事業費		151,264	千円	151,087	千円		千円		千円
	事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円	
使用料・手数料			千円		千円		千円		千円	千円
分担金・負担金			千円		千円		千円		千円	千円
地方債			千円		千円		千円		千円	千円
その他			千円		千円		千円		千円	千円
一般財源			151,264	千円	151,087	千円		千円		千円
財源合計		151,264	千円	151,087	千円		千円		千円	

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会基本条例に基づき、議会活動を円滑に行うために必要な事業です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議員が主体となり、事務局がサポートしながら円滑な事業の運営を行っていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会を効率的に運用するためには必要な経費です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事務量が増加していますが、議会運営の機能が低下することのないよう努めます。			
すぐに行える改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
活動	議案処理件数	件	実績値								
			目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
活動	議長交際費	千円	実績値	117	117	103	103	92	92	135	135
			目標値	425	達成率	425	達成率	425	達成率	425	達成率
活動	議員報酬	千円	実績値	444	104.47	319	75.06	421	99.06	318	74.82
			目標値	400	達成率	400	達成率	400	達成率	400	達成率
活動	議員定数	人	実績値	400	100	400	100	400	100	400	100
			目標値	26	達成率	26	達成率	26	達成率	26	達成率
			実績値	26	100	26	100	26	100	26	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率

事務事業名	議会事務局事業			事業コード	01010105106
所管部署	議会事務局	電話	50-3001	記入者名	小澤清和
事業対象	坂井市議会、及び議員				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	内部管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市議会事務局設置条例、坂井市議会事務局処務規程、坂井市議会公印規程			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

議会活動を円滑に進めるため、必要となる各種事務を行います。北信越・県の各市議会議会議長会研修会への参加を通して、事務効率の向上に努め、議会・議員活動を支援します。

議会を代表する議長や議決機関である議会がその役割を果たすことができるようにその活動を支援する。

◆議会運営に要する経費
 ・議員の報酬、費用弁償、及び議員共済に係る事務
 ・議員表彰事務
 ・文書物件の收受、発送、保管
 ・予算要求、執行事務
 ・議会各種調査事務
 ・議会公印の管守
 ・議事堂管理
 ・全国市議会負担金等
 ・全国委員長会等関係諸会議の出席等を通じて、必要な情報の提供や収集を行うとともに関係各市議会等との相互連携や意見交換を行う。

予算	款	議会費	項	議会費	目	議会費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	175千円	209千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	39千円	38千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	214千円	247千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.85人	6,043千円	1.30人	9,136千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.85人	6,043千円	1.30人	9,136千円	人	千円	人	千円
	総事業費		6,257千円	9,383千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円				
地方債		千円	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		6,257千円	9,383千円	千円	千円	千円				
財源合計	6,257千円	9,383千円	千円	千円	千円					

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
			目標値	実績値	達成率	達成率	達成率	達成率			
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								

すぐできる改善提案	行政需要が高制度化、多様化、複雑化しているなかで、国、県、他市の動きなどの情報を常に収集し、議会の活動を適正かつ効率的なサポートと執行に努めます。
目標年度	平成27年度
取組状況	北信越や県単位での事務局研修に積極的に参加して、当市議会活動が適正かつ効率的に執行されるよう、国や他市の情報を収集するとともに、他の議会事務局職員との意見交換を行っている。
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度	未設定年度
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会活動を円滑に進めるために必要な事業です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会事務局職員が行います。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事務局職員のスキルアップ等に必要最低限の経費です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議会基本条例等の施行により、事務量は増加傾向にあります。			
すぐできる改善提案		目標年度	--	年度
中長期的に取り組むべき改善提案		目標年度	--	年度

【事業の成果】

事務事業名	議会調査活動事業			事業コード	01010110101		
所管部署	議会事務局	電話	50-3001	記入者名	小澤清和		
事業対象	坂井市議会議員、及び会派						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	効率的な行財政運営の推進			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	地方自治法					
根拠例規	有	坂井市議会政務活動費の交付に関する条例、坂井市議会の政務活動費の交付に関する規則、坂井市議会委員会条例、坂井市議会会議規則					
関連計画・マニュアル	有	政務活動費マニュアル					
事業の概要	政務活動費での調査活動及び各委員会の視察研修による先進事例の調査・研究を通して、行政課題（懸案事項）等への知識・見識を高めます。						
	<p>◆政務活動費事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 会派の所属議員数に応じて、議員一人につき月額50,000円を会派に支給するものとし、支給月は4月、7月、10月、1月とします。 会派代表者は、領収書を添付した収支報告書を翌年4月末までに議長に提出します。（視察研修報告については、研修終了後、1ヶ月以内に提出します。） 政務活動費に余剰金が生じた場合には、預金利子を含めて市に返還します。 ※会派結成届のない無所属議員には、政務活動費を交付しません。 <p>◆議会調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 常任委員会、特別委員会の各所管事項について、調査研究のための視察研修を実施します。 常任委員会は一人当たり80,000円、特別委員会は同50,000円を限度に支給します。（なお、特別委員会は隔年実施とします。） 視察謝礼として、1ヶ所2,500円以内を支出します。 						

予算	款	議会費	項	議会費	目	議会費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	78千円	78千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	13千円	25千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	14,105千円	13,491千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	14,196千円	13,594千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.80人	5,687千円	0.60人	4,217千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.80人	5,687千円	0.60人	4,217千円	人	千円	人	千円
	総事業費		19,883千円	17,811千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		19,883千円	17,811千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	19,883千円	17,811千円	千円	千円	千円	千円				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	調査箇所数	目標値	15	達成率 15	達成率 15	達成率 15		
		実績値	15	100	10	66.67	15	100
活動	政務活動費交付件数	目標値	6	達成率 5	達成率 5	達成率 5		
		実績値	6	100	7	140	7	140
活動	1人会派件数	目標値	0	達成率 0	達成率 0	達成率 0		
		実績値	2	---	2	---	3	---
活動	1人当たりの政務調査費（月額）	目標値	35000	達成率 35000	達成率 35000	達成率 35000		
		実績値	36020	102.91	36765	105.04	34647	98.99
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値						

すぐに行ける改善提案	政務活動費については、議員に使用基準を十分理解していただき、透明性の確保に努めるとともに、坂井市議会「政務活動費マニュアル」による適正な制度運用に取り組みます。
目標年度 平成27年度	
取組状況	年1回「政務活動費マニュアル」を見直し、議員にその都度説明を行い、市民から誤解されないよう、政務活動費の用途について透明性の確保に努めている。
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議員のスキルアップを図るうえで必要な事業です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	会派や各委員会が必用に応じて、実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議員の調査研究を行うために、必用な経費です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	適正な議員の調査活動が行えるよう職員がサポートしています。			
すぐに行ける改善提案	政務活動費について、変更すべき部分が生じたときには会派、議運等で協議しながら運用マニュアルを改正していきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【事業の成果】

【所属長評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	議会広報事業			事業コード	01010110106
所管部署	議会事務局	電話	50-3001	記入者名	小澤清和
事業対象	市民、及び全国市町議会				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	効率的な行政運営の推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	議会だより印刷業務、議会録画放送編集業務の委託
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市議会広報発行規程			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

坂井市議会の各定例会の内容および議会活動を住民により早く、わかりやすい形で広く市内外に発信することにより、市議会や議員の活動に対する理解や関心を高めることと併せ坂井市の広報に寄与します。

- ◆議会報告会
 - ・市内を23地区（まちづくり協議会単位）に分けて、各定例会終了後から次期定例会の間に1日3地区ずつ2日間開催しています。（16地区/年）
- ◆市議会だよりの発行
 - ・市議会便りを年4回（5月、8月、11月、2月）発行
- ◆議会録画放送
 - ・ケーブルテレビにて6月、9月、12月、3月の定例会本会議の録画放送を行います。
- ◆その他の広報
 - ・ホームページ、議会傍聴を通じて議会活動の広報を行います。
 - ・坂井市の宣伝のため、他自治体議会の委員会、会派等の行政視察を積極的に受け入れます。（議会のしおり、市勢要覧、観光パンフレット等の配布）

事業の目的・事業の概要等

すぐできる改善提案	現状維持しつつ、より見やすく、分かりやすいレイアウト、構成に努めます。		
目標年度	平成27	年度	
取組状況	今年度は、定例会で審議された内容を先に掲載し、より審議内容を把握してもらえるような紙面構成とした。また、発行ごとに5回程度の広報編集委員会を開催して、読みやすい紙面づくりを心掛けている。		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も記事内容の精査など紙面の充実を図るとともに、紙面の有効活用、ページ数の削減など経費の節約に結びつける必要があります。また市の広報ほか情報発信ツールを整理することなども効率性の観点から検討課題と考えます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	広報編集委員会に話題を出しながら、継続して審議している。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	議会費	項	議会費	目	議会費						
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度				
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
		委託費	3,218	千円	2,808	千円	千円	千円				
		需用費	2,560	千円	4,299	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円					
		その他	4,184	千円	976	千円	千円	千円				
		事業費合計	9,962	千円	8,083	千円	千円	千円				
	人件費	正職員	1.15	人	8,175	千円	0.60	人	4,217	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	0.00	人	千円	人	千円		
		人件費合計	1.15	人	8,175	千円	0.60	人	4,217	千円	人	千円
	総事業費	18,137	千円	12,300	千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円					
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円						
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円						
地方債		千円	千円	千円	千円							
その他		千円	千円	千円	千円							
一般財源		18,137	千円	12,300	千円	千円	千円					
財源合計	18,137	千円	12,300	千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	開かれた議会を目指すためにも不可欠な事業です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	ケーブルテレビについては、専門的な技術を要することもあり委託を行っていく。議会広報やホームページの内容更新等についてはこれまでどおり、事務局職員がサポートを行っていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	開かれた議会のため、議会活動内容を市民に周知する内容の増減により、コストは異なります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業量は増加傾向にありますが、現状の人員でサポートしていきます。			
すぐできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	ケーブルテレビで議会の録画放送を行っているが、インターネットによる中継（録画）についても検討していく必要があります。			
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
議会だより発行回数		回	目標値	4	達成率	4	達成率	4	達成率	4	達成率
			実績値	4	100	4	100	4	100	4	100
行政視察受入件数		件	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率	10	達成率
			実績値	23	230	13	130	23	230	11	110
議会録画放送回数		回	目標値	4	達成率	4	達成率	4	達成率	4	達成率
			実績値	4	100	4	100	4	100	4	100
議会傍聴者数		人	目標値	80	達成率	80	達成率	60	達成率	60	達成率
			実績値	45	56.25	111	138.75	78	130	61	101.67
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】